

2025年8月18日

各 位

ウェルネット株式会社（東証スタンダード、札幌証券コード：2428）

小中学校で配布されるキャリア教育副教材『小学生のためのお仕事ノート』 『中学生のためのお仕事ブック』札幌版にウェルネットの取り組みが掲載されます。

ウェルネット株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：宮澤一洋、証券コード：2428、以下、「当社」という）は、株式会社中広（本社：岐阜県岐阜市／愛知県名古屋市、代表取締役会長：後藤一俊、証券コード：2139）が発行する2025年度のキャリア教育副教材『小学生のためのお仕事ノート』（以下、「お仕事ノート」という）及び『中学生のためのお仕事ブック』（以下、「お仕事ブック」という）の札幌版に当社の取り組みが掲載されることをお知らせいたします。



お仕事ノートは令和2年、お仕事ブックは令和3年に創刊されて以来、全国の20以上の都道府県で自治体ごとに発行されており、地元企業の業務内容や働く人々の仕事内容について、写真やイラストを交えながらわかりやすく説明されています。

今年度の札幌版の中で、当社は「電子決済サービス業」として、「収納代行」「送金サービス」「スマホチケット」といった各種提供サービスと、それらを作り、支えている社員の仕事内容が、児童生徒たちに伝わりやすいようにまとめられており、当社で実際に働く社員のインタビューも掲載され、働くことの楽しさや社員の想いが伝わる内容となっています。

当社は企業活動や社会貢献活動を通じて地域社会の活性化や豊かな生活環境づくりを目指しています。児童生徒の皆さんが「お仕事ノート」「お仕事ブック」を読み、将来の夢や目標を考えるきっかけになることを心から願うとともに、これからも地域・社会貢献に取り組んでまいります。



もっとくわしく
みてみよう

職場見学可能です

私たちは、いつでも、どこでも使える 便利なサービスを作っています

ウェルネット株式会社
所在地：札幌市中央区大通東1丁目11番地4 TEL:011-350-7770(代表) https://www.welnet.co.jp/
創業：1983(昭和53)年4月 従業員数：133名(2025年6月30日現在)

私たちの仕事

私たちは、お店やインターネットでお金を払うときに、簡単に利用できる仕組みを作っています。コンビニでの支払いやネットでの買い物、スマートフォンでの支払いなど、さまざまな方法でお金のやりとりがスムーズにできるように開発しています。みんなが安心して買い物やサービスを使えるように、これらの仕組みを見直し、作ったりしています。私たちは、毎日のくらしをもっと便利に、快適にするために働いています。



▲札幌本社屋

電子決済サービスの仕事とは?

支払いを便利にする仕組みを作ること

スマートフォンやコンビニ、銀行の口座を使ってお金を払うとき、安心して使えるように、仕組みを作る仕事をしています。毎日の買い物やサービスが、人々にとって便利になるように変えています。

【収納代行】



お店や会社のかわりに、お金を集めて届けるシステムです。

【送金サービス】



お金を届けたい人や会社にも、すぐに送金ができる便利なサービスです。

【スマホチケット】



スマートフォンのチケットを見れば、乗り場やイベントにそのまゝ入れます。

【電子マネー】



現金を出さずに、スマートフォンやカードで買い物ができる仕組みです。

働く人の声

総務人事 竹山 恵さん

たくさんの人に出会える
人事として、一緒に働く仲間を募めて、みんなで成長していくサポートをしています。社員が安心して働けるように、まわりの環境を整えることも大事な仕事です。

システムエンジニア 吉能 誠さん

便利な未来を目指して
私は、スマホ1つで交通機関や施設のチケットを購入して、利用できるシステムを開発しています。この開発したシステムで、みんなの生活が便利になると思うと、やりがいを感じます。



もっとくわしく
みてみよう

職場見学可能です

ウェルネット株式会社

本社：札幌市中央区大通東1丁目11番地4
TEL:011-350-7770(代表) https://www.welnet.co.jp/
設立：1983(昭和53)年4月 従業員数：133名(2025年6月30日現在)

どんな便利なサービスをみんなに提供しているの?

いつでも、どこでも、支払いができるサービスを作っているんです

私たちは、便利で安心して使える支払いサービスも、ITの力で困る仕事をしています。たとえば、お店や公共機関での支払いをスムーズにする仕組みや、スマートフォンと銀行口座をつなげて支払いができるアプリを開発しています。さらに、バスや鉄道、飛行機などのチケットの予約や発券ができるシステムを通じて、社会の発展に貢献しています。

どんな手順で、システムは作られているの?

企画・設計



支払い方法や本人確認を使う人の立場で考えます。

システム開発



頭の中のアイデアを、使える形に変えています。

テスト



システムが安全に動くか、何度も確認し確認します。

導入



できたシステムを現場で使えるように整えます。

運用・保守



困っていないか見守り、使いやすさを磨きます。

スマートフォンのサービス

スマートフォンさえあればいいですか?

スマートフォンを使ったチケットの使い方「スマホチケット」

バスやイベントのチケットをスマートフォンに表示するだけで使える、便利な仕組みです。紙のチケットを印刷したり、持ち歩いたりする必要がなく、なくす心配もありません。チケットはスマートフォンに届くので、いつでもどこでも確認できます。たとえば、バスに乗るときはスマホの画面を見せるだけで利用できます。チケットの購入から利用までがスマートフォンだけでできるため、多くの人にとってわかりやすく、便利な方法として注目されています。

現金なしでも、支払いが可能「電子マネー」が変えるわたしたちの買い物

スマートフォンの電子マネーを使えば、お店での支払いもスムーズに済ませることができます。たとえば、財布を出さずにスマートフォンをかざすだけで、代金を支払うことができます。現金を持ち歩かなくてもいいので、落としたり盗まれたりするリスクが減り、安心して使えるのもメリットの一つです。こうした便利だから、電子マネーは私たちの暮らしの中で役立つ、新しい支払い方法として、ますます広がっています。

北海道のためにどんな支援をしていますか?

総額2.2億円のウェルネット基金
北海道内高校生1,025名に1億1100万円支援

「道新ウェルネット奨学金」で北海道内の若者を支援

北海道の高校生を応援する「奨学金制度」は、2015年から続いています。これまでの約1,025名の学生に、合計1億1,100万円の支援が行われました。経済的な理由で進学する学生をゼロにすることを目標に、授業料の補助や奨学金の支援などを行っています。こうした取り組みを通して、学生たちが安心して学び続けられる環境を支えています。

働く人の声

システムエンジニア 植田 三郎さん

Q.どんな仕事をしていますか?
私は、日常では、お店で使われるシステムを開発したり、アプリを開発してテストしたりする仕事をしています。最近では、道新ウェルネット基金の奨学金制度に協力して、奨学金を貸付しています。また、道新ウェルネット基金の奨学金制度に協力して、奨学金を貸付しています。

Q.この仕事のやりがいは何ですか?
私がやっているのは、実は何かがみんなの役に立つことです。その中でも、道新ウェルネット基金の奨学金制度に協力して、奨学金を貸付することは、私にとって大きなやりがいです。みんなの未来を支えることができるのは、とても嬉しいことです。

システムエンジニア 吉能 誠さん

Q.どんな仕事をしていますか?
私は、道新ウェルネット基金の奨学金制度で使われる電子マネーの開発やシステムを開発しています。最近では、スマートフォンでバスや鉄道のチケットを購入できるサービスを開発しています。道新ウェルネット基金の奨学金制度に協力して、奨学金を貸付しています。

Q.この仕事のやりがいは何ですか?
交通や社会の発展にも関わらず、みんなの生活をより良くするために、道新ウェルネット基金の奨学金制度に協力して、奨学金を貸付しています。みんなの未来を支えることができるのは、とても嬉しいことです。